山陰海岸発の防災食が「ジオの逸品」に

山陰海岸ジオパーク推進協議会では、地域の資源を活用しジオパークらしさが感じられる商品を「ジオの逸品」として認定しています。昨春のスイーツ5品に続き、12月には山陰海岸沖に生息するベニズワイガニを使った缶詰やレトルトカレーなど防災食品7品を認定しました。もしものときに備え、役立ててください。（山陰海岸ジオパーク推進協議会）

問但馬県民局ジオパーク課
☎0796-26-3781 F0796-26-3785

GEO-SELECTION
SAN'IN KAIGAN GEOPARK

詳しくはこちら

香美町のマルヤ水産㈱が手がける「純正かに味噌缶詰」。1缶にベニズワイガニ20匹分を使っています。

純正かに味噌缶詰2個セット（1缶80g1,080円）を5人にプレゼント

応募方法は7面へ

「緑」の世界に触れ日常の疲れを癒やす

ひょうごフィールドパビリオン

山間部や渓谷などに自生し、国内には1,900もの種類があるコケ。市川と円山川の分水嶺に位置する朝来市の生野銀山周辺は、とりわけ種類が豊富です。兵庫苔ラボでは、ネイチャーガイドの案内の下、森を歩きながらコケの風景を楽しみ心身をリフレッシュするツアーを開催しています。観察後は用意された15種類のコケや流木、天然石などを使ってガラス容器の中に自分だけの世界を創る苔テラリウムも体験できます。ストレスフルな日常を忘れ、緑に心癒やされませんか。（兵庫苔ラボ代表 増田真人さん）

想像力を働かせて作る苔テラリウム。フィギュアを入れることも可能です。

ツアーでは、コケはもちろん滝なども見ることができます。

兵庫五国苔リトリートツアー

日6月13日㈯、14日㈰ 所朝来市生野町
定10人（先着）※最少催行人数2人
¥8,000円 申問HPで兵庫苔ラボへ
☎079-427-3103（月曜、水曜、金曜のみ）

詳しくはこちら

地域の歴史や文化を映す古民家を次世代に残したい

県内では近年、古民家の利活用が進んでいます。丹波篠山市内を中心に300件以上の設計を担当してきた㈲才本建築事務所代表の才本謙二さんに話を聞きました。（取材・文 本紙編集部）

1 才本さんは、地域の古民家再生の取り組みを支援する県空き家改修アドバイザーを今年3月まで務めました。2「集落丸山」は、古民家活用の成功事例として全国から注目を集めました。右は客室。

Q.これまでの取り組みは。
2004（平成16）年に篠山城周辺が国の伝統的建造物群保存地区に選定されたのを機に、古い建造物の改修に関わるようになりました。09年に集落の3軒の空き家を宿泊施設に改装した「集落丸山」のプロジェクトでは、設計を担当しました。

Q.「集落丸山」改修のポイントは。
いずれの建物もかやぶき屋根で築150年を超えていましたが、保存状態が良く、多くの建材をそのまま使用することで費用を抑えることができました。昔の柱や梁（はり）は、堅固で細工も凝ったものが多いのが魅力です。外観は改修前の面影を保つため、ほとんど手を加えていません。

Q.今後の展望は。
古民家はその土地の歴史や文化を反映しており、高い価値があると感じています。これらを次の世代に残すには、私たち設計者のプランを再現してくれる高い技術を備えた職人や、必要な道具と材料を守らなくてはいけません。そのためにも古民家の再生に積極的に携わっていきたいと思います。

県では、「古民家再生促進支援事業」として、地域に大工や建築士などの専門家を派遣したり改修費を一部補助したりするなど、古い建物の活用を後押ししています。

詳しくはこちら

問県住宅政策課 ☎078-362-3583 F078-362-9458

みんなの声 県の予算が易しく解説されており、孫への説明に大いに役立ちました。（神戸市須磨区・竹下さん）